

# 『 禅のころ - 曹洞宗 - 』

## 観音さま

平成28年4月第3週放送

多くの方々の信仰を集めているほとけさまに、「観音さま」がいらっしゃいます。各地に観音さまを祀<sup>まつ</sup>った寺院やお堂があり、それらを巡る観音霊場があり、多くの方々が祈<sup>まい</sup>りをされています。

曹洞宗においても、大本山總持寺を開かれた太祖瑩山禅師のお母さまは、とても信仰心が厚く、毎日『観音経』を唱えて観音さまに祈願をし、当時としてはご高齢での出産でしたが、無事に瑩山禅師がお生まれになったという逸話が知られています。

『観音経』には、観音さまの力<sup>ちから</sup>を念ずれば、さまざまに善いことが起こると説かれています。例えば、火の中や海の中などのさまざまな自然災害、毒蛇や猛獣などさまざまな危難<sup>きなん</sup>からも救われる、とあります。私たちのギリギリの窮地<sup>きゆうち</sup>を救ってくださる力は、観音さまに対する深い信仰心から生まれてくる、とも説かれています。

観音さまは、私たち衆生<sup>しゆじょう</sup>の苦しみの声<sup>かん</sup>を観じて一人ひとりの求めに応じて救いの手をさしのべる菩薩さま、正式には「観世音菩薩<sup>かんぜおんぼさつ</sup>」とお呼び致します。

そして菩薩さまは、悩み苦しむ私たちをすべて救おうという願いを立てて、より身近にいらっしゃるほとけさまなのです。

一緒にいるだけでホッとして、癒やしを与えてくれるような方を、“観音さまのような方”とか“菩薩さまのような方”という表現があります。仏像にあらわされているような観音さまのあの優しいお顔立ちを始めとする容姿は、多くの方々に安心<sup>あんしん</sup>を与えているのでしょう。

私たちに、救いと安心<sup>あんしん</sup>を与えてくださる観音さま。

春の一日、観音さまをお祀りしているお寺を訪ね、手を合わせてみてはいかがでしょうか。何かにお困りの時は、救いを願ってみてください。ただ観音さまと向きあって手を合わせるだけでも、そのやさしいお姿が、疲れた心に安らぎを与えてくださるでしょう。

— 終 —